

# 家鴨のすゝめ

生徒指導部だより 春休み号

令和5年3月22日



三田祥雲館高校  
生徒指導部 発行

## 長期休業中の注意点

高校入試もあり、オフ明けの部活動、なお且つ、気温が急に高くなったときに注意してほしいのが熱中症です。これから入部する新入生についても、受験で体力の回復していない人が多いので、急に激しい運動をすると危険です。くれぐれも無理のないよう、互いの様子をよく観ながら活動しましょう。また、顧問の先生が会議等で出られないこともあるかと思えます。事故を未然に防ぐためにも、水分補給や用具の確認、練習メニューに無理がないかといったことを顧問の先生と部員間で共有しておいてください。以下、いつもと大きくは変わりませんが、内容の確認をお願いします。



### 1. 生活面

- ・マナーについて…人が集まる場所ではマスクを着用し、咳エチケットを守るなど、感染予防に努めること。
- ・服装について…学校に登校する場合は制服を着用すること。  
\* 休日および長期休業中の部活動については、体操服・部活動のチームウェアでも可。
- ・下校時刻について…部活動では顧問の指示に従い行動し、18:00 完全下校を守ること。
- ・外出について…兵庫県青少年愛護条例では「深夜外出の制限」という項目があります。深夜とは午後11時から翌午前5時までをいいますが、この時間帯におけるカラオケ・インターネットカフェなど深夜遊戯営業等の場所へは立ち入らないこと。
- ・携帯電話・スマホの使用…校内での使用は原則禁止。緊急時など教員の許可を得て使用可。  
SNSによる誹謗・中傷、または画像・動画の拡散等、迷惑行為禁止。  
もし被害を受けたときは保護者・学校に相談すること。

### 2. 自転車のマナー

〔自転車安全利用五則〕

- ① 車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先
- ② 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- ③ 夜間はライトを点灯
- ④ 飲酒運転は禁止
- ⑤ ヘルメットを着用



全校集会の際にも連絡しましたが、これまでの「子ども（13歳未満）はヘルメットを着用」から「ヘルメットを着用」変わっており、令和5年4月1日から自転車用ヘルメット着用の努力義務化となります。

三田市内にはスピードが出やすく、走りやすい場所が多くあります。自分の命を守るだけでなく、他者にとっても危険な運転のないように、傘差し・携帯電話の操作・ヘッドホンの着用・二人乗り・並進の禁止といった点に注意し、安全運転を心がけましょう。

### 3. 旅行・アルバイト・その他

- ・旅行届は担任、学割申請は事務室です。余裕をもって早めに提出すること。
- ・長期にわたり外出をする場合は、担任に連絡先等を届けること。
- ・無断アルバイトは禁止です。家計の急変などやむを得ずアルバイトを必要とする場合はあらかじめ保護者・担任と十分に相談すること。

### 4. その他

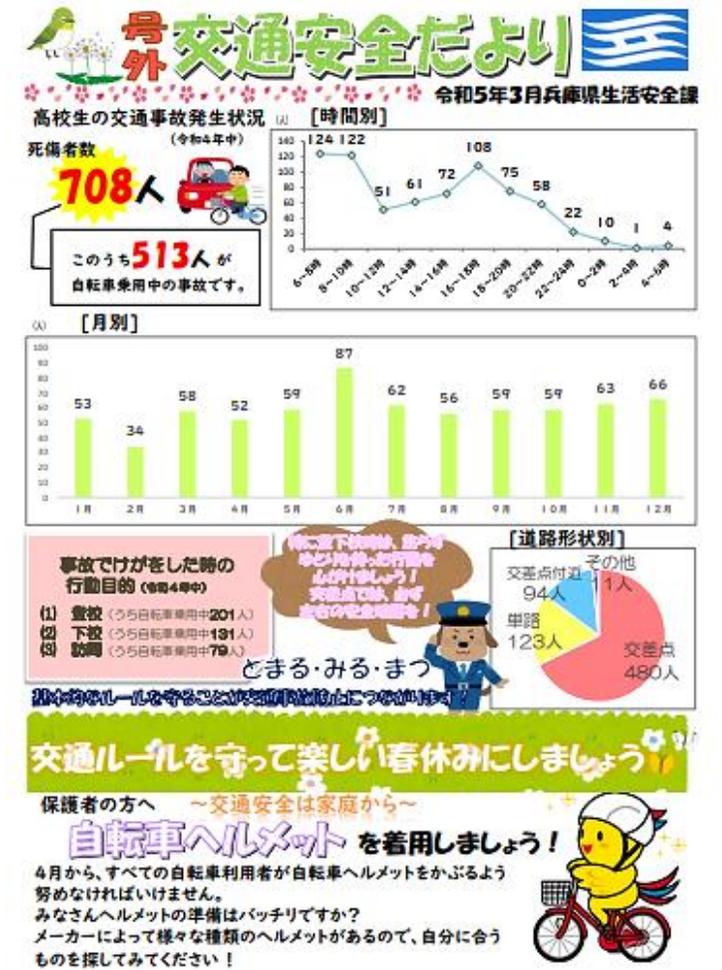
- ・1月に実施したいじめアンケートでは、いじめに関する記載はありませんでしたが、人間関係での悩みや不信・不満等は自分一人で抱え込まず、身近な人に相談すること。
- ・不審者に遭遇した、あるいはしそうな場合、その場ですぐに警察に連絡を取ること。  
\*事後、担任に連絡すること。

ひょうごっ子悩み相談

0120-0-78310 (なやみ言おう)

いのちの電話

0120-783-556 (なやみころ)



(令和5年3月兵庫県生活安全課より)

緊急連絡先 学校 079-560-6080

平日 8:20~16:50 (土日を除く)

## 校則の見直しについて

全校集会でも連絡しましたが、以下の通りです。生徒会との協議や職員会議などを経て今年度見直した部分と4月から変わる部分とについても、いま一度確認をお願いします。

### 1. 服装等の規定

常に県立三田祥雲館高等学校の生徒であるという自覚を持ち、それにふさわしい服装・態度を心がける。

#### (1) 服装

①指定された服装を着用し、端正・清潔を心がけること。

冬 季 目安：4月1日～5月31日・10月1日～3月31日

男子 ブレザー・カッターシャツ・ネクタイ・冬季スラックス

女子 ブレザー・カッターシャツ・~~リボン~~・冬季スカート（スラックス）

男女ともに校章を着用する。 → **リボン（ネクタイ）**

夏 季 目安：6月1日～9月30日

男子 カッターシャツ・夏季スラックス

女子 カッターシャツ・夏季スカート（スラックス）

- ・ソックス…白・紺・黒・グレーの華美でないもの（ライン・マークは1ポイントまで）
- ・ストッキング・タイツ…紺・黒の無地
- ・スラックスのベルト…黒・茶の単色のものとする。
- ・スカートの丈…膝の中央を基準とする。
- ・通学靴…黒の革靴（合成皮革も可）とする。
- ・通学カバン…~~学校指定のものを使用すること。~~

~~【補足】授業日 指定カバン・補助カバン 休日 補助カバンのみでも可（生徒手帳記載なし）~~

→ **華美でないもの**

追加：**休日および長期休業中の部活動については、体操服・部活動のチームウェアで登下校しても構わない。**

## 生徒指導部の先生より

### 「出会い～偶然？必然？～」

足立 康裕

人生で何らかの接点を持つ人 30,000 人、学校や仕事を通じて近い関係になる人 3,000 人、親しい会話ができる人 300 人、友人と呼べる人 30 人、親友と呼べる人 3 人という通説がある。世界の人口から算出すると、わずか 0.0004%ほどの奇跡的な確率だそうである。

高2の進路希望が定まっていなかった時に出会った先輩がきっかけで、体育系に目標が定まる。十数年後、その先輩のお母さんと同じ体育準備室で働くことになる。高3で出会った国語講師の先生のおかげで、やる気スイッチが入り無事に大学生になる。数十年後に同じ職場で、同じ学年団に入り仕事を。高校時代の親しかった友人の息子を数十年後に、野球部で指導することになる。紙面上これく

らいにとどめておきます…。

3月、4月は出会いと別れの季節です。これまでに会った人、ここ三田祥雲館での出会い、かけがえのない時間を大切に、先輩として今できるチャレンジを精一杯していこう。

### 「1年を振り返って」

勝男 義行

今年度もコロナ禍のもと、学校生活においても様々な制約がある一年となった。祥雲祭も通常とは異なるかたちにならざるを得なかったが、卒業生の答辞にもあったように、制約があるからこそクラスの叡智が試される場ともなり、これまでにはない発表も生まれたように思う。よく考えてみれば、人の全ての活動に制約はあって当たり前なのである。時間も資金も全ては無尽蔵ではない。人の一生も人間の長い歴史から見れば一瞬のことである。生きてるだけで奇跡なのかもしれない今を精一杯の力で生きてほしい。たまたま祥雲館に集った自分の横にいる仲間とともに。決して一人ではないのである。

### 「1年を振り返って」

牛尾 菜穂子

口元を覆う1枚の薄っぺらい布が「密・蜜」な青春時代のくったくの笑顔までも隠してしまっってはや3年が経とうとしています。コロナ禍の出口がようやく見えてきました。とかく失ったものに目を向けてしまいがちになりますが、この3年で大切なものに気づかされたことも多くあったはず。そのひとつが「繋ぐ」ということです。当たり前のように繋いできた行事や伝統。その多くを中止せざるを得なくなり、当たり前が当たり前でなくなったときに大切なものを「繋ぐ」ことの重要さに気づかされました。先輩たちから繋いできた伝統が薄れてしまった部分もあるかもしれませんが、制約の中で工夫・創造して生まれた新しい「伝統」もあるでしょう。大切にそれを次の後輩たちに繋いでいって欲しいと思います。

### ～最後に～

いつも集会では生徒指導部長が話すことがほとんどでしたが、生徒指導部内の先生も色々な思いをもって指導にあたっています。学校行事もコロナ前の形に少しずつ戻っていますが、来年度にはさらに活気ある祥雲館になるよう、引き続き、生徒会・生徒指導部へのご協力をお願いします！ 平家



特別支援学校との交流



「三田まち歩き」に参加



キッズフェスティバル